



大学数学の勉強法

高校数学と大学数学のギャップにやられて今にも数学が嫌いになりそうな方に、大学数学の勉強法の一例を紹介します。

教科書や講義ノートをよく読む。

講義のスピードはとても速く、講義の時間だけで全て理解できることはほとんどありません。そのため、理解できなかった所は教科書や講義ノートをよく読みましょう。他教科にも共通して言える事だと思えますが、大学数学の内容は自学自習でしか身につけません。

定義を正確に理解し覚える。

定義は証明のように考えたら分かるというようなものではありません。とりあえず覚えましょう。定義を正確に理解し覚えていないと講義の内容は勿論、教科書の内容も理解できません。何も見ずに正確に書けるようになるまで何度も覚えましょう。

とりあえず、定義や定理の主張、証明を写してみる。

教科書や講義ノートを読んでも全く理解できなかったことが、写しているうちに思考が整理され理解できることがあります。一通り流れが理解出来てきたら、自分なりに行間を埋めることを意識してみましょう。同じ定理・証明でも、教科書によって丁寧に証明されているものや「自明である。」で終わっているものなど様々なので、分からない時は図書館で本を探して読み比べることをお勧めします。

理解できなくても一旦認めて次に進む。

定義や定理など、どうしても理解できないことが出てくる場合があります。そんな場合は、一旦認めて次に進んでみましょう。その後の内容や例を読むと理解できたり、後で戻ると何故かすんなり理解できることがあります。

友達と一緒に勉強し、議論する。(大事!)

友達と一緒に勉強することで、わからない所を一緒に考えたり、内容を説明したり説明されたりすることによって、理解が深まります。特に、相手に説明し言語化することでアウトプットができます。言語化できない時は理解できていないことが多いです。数理科の学生にとっては、基礎ゼミや卒業研究のゼミの良い練習にもなります。

図書館を活用する。

大学数学の教科書は、一冊読めばその分野が完璧になるような本はありません。高校までの一冊を完璧にするという考えは捨てて、色々な教科書を読んでみましょう。理解に繋がるヒントが見つかるかもしれません。

数学書は、3階閲覧室[3B室]や中3階和図書書庫[3E室](古い本が多い)に沢山あります。場所や探し方が分からない時はラーニング・サポートデスクまでお越し下さい。

ネットを活用する。

ネットでわからない内容を検索すると、他大学の講義ノートがあることもあり、理解の助けになります。注意としては、全部鵜呑みにしない事！(特にYahoo!知恵袋には注意)ネットには有益な情報もある一方で、間違った情報もあります。教科書ですら間違いがあることもあります。書かれている事が本当に正しいか疑いながら読みましょう。

教員に質問する。

どうしてもわからない時は、教員に質問しましょう。教員は数学のプロなので、プロに教えてもらうのが一番です。ただし、有意義な時間にするためにも、わからない場所を明確にしてから質問しに行きましょう。オフィスアワーと言って質問対応などをしてくれる時間を設けてくれている場合があります。シラバスで確認できるので、質問に行く際は、時間帯と場所を確認してから訪問しましょう。メールでアポを取ると確実です。

ラーニング・サポートデスクを活用する。

ラーニング・サポートデスク(図書館2階ラーニング・コモンズ左側)では、TA(ティーチング・アシスタント)に質問することができます。図書館で勉強していてわからないところが出てきたり、教員に質問しづらい方などはラーニング・サポートデスクを活用しましょう。その場で疑問が解決できるかもしれませんが、ただし、常に理系のTAがいるとは限らないので、[琉大図書館ウェブサイト](#)で[ラーニング・サポートデスク開設スケジュール](#)を確認の上お越し下さい。

図書館に行くのは大変だし、直接質問するのはちょっと...と思っているそこの貴方！ラーニング・サポートデスクではLINEでも学修相談ができます！下記のQRコードから友達追加をしてお気軽にご相談ください。

ラーニング・サポートデスク

数学書は★の周辺にあります。

ラーニング・サポートデスク
Learning Support Desk

公式LINE



(理工学研究科数学系 M1)